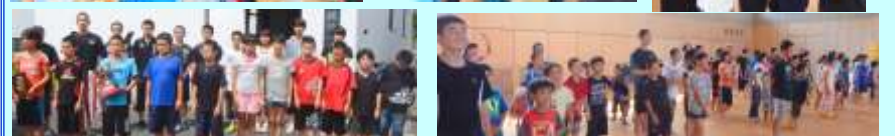




かけはし

～ この夏の思い出！汗・涙・友情 ～

★ 前期稽古納め ★



今回のかけはしは、夏の大会を中心に行事の報告として掲載させて頂きました。

◎7月10日に前期稽古納めが行われ、全クラス合同で早朝5時半から7時まで、厳しくも気合の入った稽古が実施されました。その後、一般部・後援会保護者・少年部で暑い中、日頃の感謝を込めて大掃除を実施し、道場を磨いて綺麗にするのと同じように自分の心も磨かれて、皆が爽やかな笑顔で大掃除が終了しました。引き続き、OB門下生が中心となって楽しい大昼食会が開催され、参加者全員が焼肉・焼きそばを始め美味しい料理をお腹一杯頂き、その後、道場でレクリエーションが行なわれ、最後まで和気藹藹と心温まる前期の稽古納めとなりました。これも参加頂きました先生方は勿論の事、OB門下生が念入りな準備を重ねて頂いたお蔭です。皆様ありがとうございました。

◎7月22日～7月29日錬心館・解脱研修センターを会場に全日本剣道連盟主催による第43回外国人剣道指導者夏期講習会が行われ、世界44カ国から58名の剣士が集い、研鑽を積みました。同行事は世界各国への剣道普及、指導者の育成を目的として毎年開催されているもので、錬心館では昭和51年の第2回講習会以来受入れており、今回も講師の一人として田中館長が指導にあたりました。

◎7月26日・27日に全国道場少年剣道大会が開催され、初日の小学生団体戦では、厳しい埼玉県予選を勝ち抜いた自信と誇りを胸に戦い、粘り強く接戦をものにしてベスト16（試合場一位）まで勝ち進み、続いてベスト8を賭けて全国屈指の大阪府・小曽根剣友会と対戦しましたが残念ながら僅差で敗退しました。

2日目は中学生団体戦が行われ、中学3年生にとっては道場日本一を目指す最後の全国大会であり、一人ひとりが気迫のこもった素晴らしい試合を展開しましたが惜しくも力及ばず結果は小学生と同じく全国ベスト16（試合場一位）で日本一には届きませんでした。しかし門下生諸君が毎日、日本一を目指し努力してきたその過程が何よりも大切な事であり、決してこれが終わりではなく、今まで以上に素直に真剣に学び、今回の結果を活かして小中学生共に今後益々の努力精進を期待するものです。（詳細、写真は中ページ掲載）

★ 外国人剣道指導者夏期講習会 ★



行事予定



《9月》

○ 館の行事

※稽古休み 3日(土)・24日(土) 受入行事の為
22日(木・祝) 祝日の為

○ 大会・審査会

1日(木) 埼玉連月例稽古会(一般・上尾)
11日(日) 剣道指導者講習会(一般・大宮)
24日(土) 上尾市・鴻巣市・北本市剣道連盟合同稽古会(一般・錬心館・13時半~16時)
25日(日) 六・七段受審者講習会(一般・大宮)

○ 受入行事

4日(日) みどり祭り(解脱会)

《10月》

○ 館の行事

10日(月・祝) 第169回秋季大祭参加(全門下生・10時集合~13時半終了予定)
※稽古の出来るしたくでご参加下さい。
尚、解脱会より記念品とお弁当が出ます。
30日(日) 第44回解脱選抜少年剣道錬成大会(主催大会)

※稽古休み・6日(木)~8日(土) 大祭の為
29日(土) 主催大会前日準備の為

○ 大会・審査会

1日(土) 武蔵野旗剣道大会(中学代表・上尾)
2日(日) 第1回桜木杯争奪松井剣志会少年剣道錬成大会(小中代表・所沢)
6日(木) 埼玉連月例稽古会(一般・上尾)
8日(土)~10日(月・祝) 第71回国民体育大会(岩手)
9日(日) 全国道場少年剣道選手権大会(小中代表・広島)
9日(日) 四地区講習会(一般・上尾)
16日(日) 段位審査会(初段~三段・大宮)
16日(日) 愛知県道場連盟・近藤杯剣道大会(小中代表・愛知)
23日(日) 第44回総和剣道大会(小中代表・古河)
29日(土) 南部地区稽古会(一般・大宮)

○ 受入行事

9日(日)・10日(月・祝) 第169回秋季大祭(解脱会)

《11月》 ※11月13日までの予定

○ 館の行事

6日(日) 北本産業祭演武(木刀教室・北本市役所)
※稽古休み・3日(木) 祝日の為

○ 大会・審査会

3日(木・祝) 第64回全日本剣道選手権大会(日本武道館)
6日(日) 第14回埼玉県剣道大会・小学生の部(小学代表・上尾)
8日(火)・9日(水) 平成28年度中学校剣道新人大会(団体・個人・上尾)
12日(土)・13日(日) 七段、六段審査会(名古屋)



★ 全国大会 ★

◎全日本少年少女武道大会（東京都）

小学団体

解脱 **敢闘賞**

北 本

先鋒 小嶋 修斗 (小6)	先鋒 内村亜玖里 (小5)
次鋒 関根 昇之介 (小5)	次鋒 田中 隆斗 (小4)
中堅 池田 翔 (小6)	中堅 大西 真尋 (小4)
副将 荒井 大輝 (小6)	副将 田中 詩織 (小5)
大将 柳 菜々海 (小6)	大将 友清奈那子 (小6)
	補員 大熊 日向 (小6)



全日本少年少女武道大会 **敢闘賞** (2チーム出場)

◎全国道場少年剣道大会（東京都）

小学団体 解脱 **試合場1位**

全国ベスト16

先鋒 小嶋 修斗 (小6)
次鋒 関根 昇之介 (小5)
中堅 池田 翔 (小6)
副将 荒井 大輝 (小6)
大将 柳 菜々海 (小6)
補員 友清 奈那子 (小6)



全国道場少年剣道大会 **ベスト16・試合場 1位**

中学団体

解脱 **試合場1位**

全国ベスト16

北 本

先鋒 大西 尊 (中2)	先鋒 大泉 波音 (中2)
次鋒 内村 日向 (中2)	次鋒 谷口 美月 (中3)
中堅 鈴木 秀海 (中3)	中堅 小嶋 紅音 (中3)
副将 荒井 大成 (中3)	副将 新井 貴大 (中2)
大将 栗原 千裕 (中3)	大将 鈴木 陽太 (中3)



全国道場少年剣道大会 **ベスト16・試合場 1位**



★ 富山県ジュニア選手団来館 ★



富山県剣道道場連盟より依頼があり富山県ジュニア剣道強化の講師、並びに受け入れ団体として田中宏明館長、解脱錬心館が推挙され、富山県ジュニア強化選手合宿事業を受け入れ、今回で5回目、8月23日～24日に富山県ジュニア選手団が来館され、初日は錬心館門下生と合同稽古をし、最終日は埼玉県道場連盟選抜選手にも参加頂き、試合稽古を行い充実した2日間となりました。



☆昇段おめでとうございます-----

四段 川端 明 (一般)

☆入門おめでとうございます-----

一般	福永 隆広	一般	小野 章友
一般	山田 紗恵子	中1	鈴木 舜大
小5	福永 隆太	小3	鈴木 裕大
小3	福永 陸斗	小3	高橋 陽向

☆大会通信

6月

★第11回埼玉道場少年選手権大会 (小・中学生個人戦・戸田)



小学男子の部
優勝 小嶋 修斗 (小6) 全国大会出場
中学女子の部
準優勝 小嶋 紅音 (中3) 全国大会出場
小学女子の部
第3位 友清奈那子 (小6)

★山岡鐵舟第12回少年剣道錬成大会 (東京)



低学年の部・第3位 田中・石井・大西・柳・伊藤
高学年の部・敢闘賞 小嶋・関根・池田・荒井・柳

7月

★第41回境町近県少年剣道大会 (茨城)

高学年の部・敢闘賞 小嶋・関根・池田・荒井・柳

★第64回学校総合体育大会

中学校剣道大会兼全中・関東予選 (越谷)

中学男子団体 北本中 第3位 関東大会出場
栗原・鈴木陽・荒井・鈴木秀・内村・大西・新井
中学女子団体 北本中 第5位 関東大会出場
小嶋・谷口・若松・大泉・千木良・久保田

8月

★関東中学校剣道大会 (茨城)

中学男子団体 北本中
栗原・鈴木陽・荒井・鈴木秀・内村・大西・新井
中学女子団体 北本中
小嶋・谷口・若松・大泉・千木良・久保田

★国民体育大会・関東ブロック大会 (山梨)

少年男子の部 第3位 国民体育大会出場
神奈川代表 副将 伊藤勇太 (桐蔭学園3年)

編集後記

後期スタート！まだまだ残暑も厳しいですが道場には再び子供達の元気な掛け声が戻って来ました。

さて、日本武道館で開催されました夏の全国大会では、大目標の日本一には届きませんでした。子供達は剣道の「朝鍛夕錬」の教えを守り努力を重ねてきたと思います。やはり結果が全てではなく夢に向う努力と反省が大切なのであり、中学3年生はこれで終わりではない、剣道を通じての人生修行は、まだまだ始まったばかりである、そんな私自身も同じであるがお互いに後期も益々の努力精進し頑張りましょう！(Y)

努力に勝る天才なし

◆9月を迎え、今年も残すところ後4ヶ月となったが、8月末には記録的な台風が各地を襲い、更には熊本県の震度5を中心に九州地方に地震が発生し、それを追うように台風が続いて明日には13号が関東に上陸するという。全国各地で被災されている方々が一日でも早く、安心安全な生活が出来るよう心からご祈念申し上げる次第である。そのような中、少年部の門下生諸君は夏休みも終わり、気持ちも新たに意気揚々と二学期を迎えたことと拝察する。これまでの修練を更に積み上げ、自らを磨き高め、より成長されんことを期待するものである。◆今夏、ブラジルのリオ・デ・ジャネイロで開催されたオリンピック(パラリンピックは今日9月7日が開会式の予定)では日本人選手の素晴らしい活躍に日本中が大いに盛り上がった。改めて努力することの尊さと何事も最後まで諦めない強い精神力、そして自己の限界に挑む直向きな選手の姿から大きな感動と勇気をもたらした。私達も出来れば経験したくない辛く悲しい現実にもぶつかるとも多々あるが、オリンピック選手のように、これは神様が自分の成長の為に必要だと与えてくれた試練、大切な学びだと前向きに受け取って、そこから逃げることなく一つ一つしっかりと乗り越えていける「克己心」を養いたいものである。◆一方、今夏日本武道館で開催された恒例の全国大会では、小学生中学生共に全国ベスト16(試合場1位)に終わった。悔し涙の止まらない選手達であったが、毎年のようにここまで勝ち上るのは並大抵のことではない。負けたことを悔やむより負けた原因を知って次には失敗しないように努力することが大切だ。ここまで勝ち上がったことを自信にして、更に稽古を積み重ねて行って欲しいと願うものだ。◆オリンピックのメダリストも最初から勝者ではなかったはずだ。負ける度に消えていく自信とプライド。数え切れないほどの悔し涙を流した先に見えたわずかな希望の灯を頼りに、自分の弱さと向き合いながら、更に努力に努力を重ね何度でも何度でも折れそうになった心を奮い立たせて、最後の最後に掴み取った今日の勝利なのだ。その努力の過程にこそ、メダルの価値が存在するものと確信する。◆勝利には、近道も抜け道も存在しない。「特別なことをするために特別なことをするのではない、特別なことをするために普段どおりの当たり前のことをする」今年メジャーリーグで三千本安打を達成したイチロー選手の言葉だ。芸術的安打もファインプレーも輝かしい記録も、全てが普段通りの当たり前のことを日々繰り返してきた結果として生まれたものなのだ。誰でも出来る事を誰でも出来ないくらいやり続けられる人間を人は天才という・・・。